

オート・ドライブ	92
TEMS	95
トラクション・コントロール(TRC)	96
4輪ESC	98
ムーン・ルーフ	99
クリアランス・ソナー	102

オート・ドライブ

グランデGに標準装備(1G-GZ車に非装着車あり)

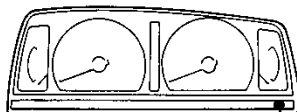
GT・ツインターボ、グランデに注文装備

オート・ドライブは、アクセル・ペダルを踏まなくても一定の速度(40km/h~100km/h)で走行できる装置です。



メイン・スイッチ

指針式メーター



作動表示灯

デジタル式メーター



作動表示灯

A/D

ONにすると作動表示灯が点灯します。

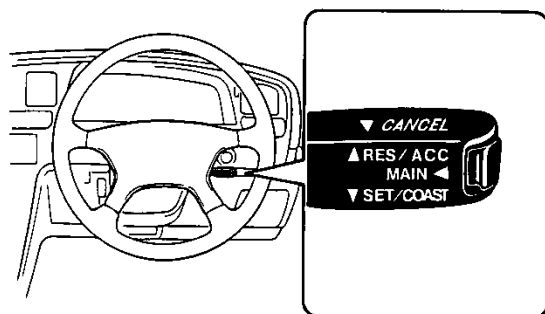
■メイン・スイッチ

オート・ドライブの電源スイッチです。

- スイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります。
- 使用しないときはOFFにしておきます。



定速走行中、作動表示灯が点滅したときは装置の異常が考えられますので、トヨタ販売店で点検を受けてください。



■コントロール・レバー

オート・ドライブを操作するレバーです。


- RES/ACC……解除前の定速走行状態にもどるときや、セット速度を上げるときに使います。
- SET/COAST……希望速度をセットしたり、セット速度を下げるときに使います。
- CANCEL……定速走行をやめるときに使います。

オート・ドライブを使って定速走行するときは(セットのしかた)

- ① メイン・スイッチを押して ONにします。
作動表示灯が点灯します。
- ② アクセル・ペダルで希望速度にします。
- ③ コントロール・レバーを下げ (SET/COAST側)、手を離します。



以上の操作で定速走行できます。

 急な下り坂になるとセット速度より速度が上がることがあります。エンジン・ブレーキをかけた後、ブレーキを踏んで減速してください。

セット速度を上げたいときは

次の2通りの方法があります。

アクセル・ペダルで上げる方法

- ① アクセル・ペダルで希望速度にします。
- ② コントロール・レバーを下げ (SET/COAST側)、手を離します。



コントロール・レバーで上げる方法

コントロール・レバーを上げ続け (RES/ACC側)、希望速度になったら手を離します。



セット速度を下げたいときは

次の2通りの方法があります。

ブレーキ・ペダルで下げる方法

- ① ブレーキ・ペダルで希望速度にします。
- ② コントロール・レバーを下げ (SET/COAST側)、手を離します。



コントロール・レバーで下げる方法

コントロール・レバーを下げ続け (SET/COAST側)、希望速度になったら手を離します。



— 一時的に加速したいときは —

アクセル・ペダルで加速します。

アクセル・ペダルを離せば、加速前の定速走行状態にもどります。

— 一時的に減速したいときは —

ブレーキ・ペダルで減速します。

定速走行が解除されます。

コントロール・レバーを上げ(RES/ACC側)手を離すと、減速前の定速走行状態にもどります。



— 定速走行をやめたいときは —

コントロール・レバーを手前(CANCEL側)に引くか、メイン・スイッチをOFFにします。



次の場合、定速走行は自動的に解除されます。

- ① ブレーキ・ペダルを踏んだとき
- ② クラッチ・ペダルを踏んだとき(M/T車)
- ③ 急な上り坂などでセット速度より約16km/h以上速度が低下したとき
- ④ 速度が約40km/h以下になったとき



コントロール・レバーで定速走行を解除したときや、上記①②により解除したときは、コントロール・レバーを上げ(RES/ACC側)手を離せば、解除前の定速走行状態にもどります。



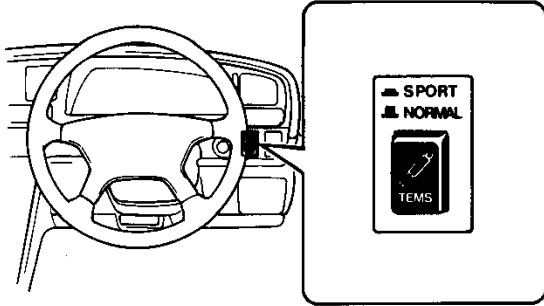
● 下記のような道路ではオート・ドライブは使用しないでください。

- 交通量の多い道路
- 急な下り坂
- 急カーブ
- 凍結路や積雪路などのすべりやすい路面
- 定速走行中にクラッチ・ペダルを踏まずにチェンジ・レバーを①の位置にしないでください。(M/T車)

TEMS

グランデG、グランデ(ツインカム24)

走行状態に応じてショック・アブソーバーの減衰力がかわる装置です。



■選択スイッチ&表示灯

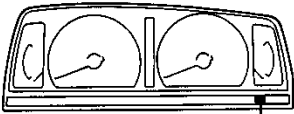
スイッチを押すごとにノーマルとスポーツに切り替わります。

スポーツを選択すると表示灯が点灯します。

通常はノーマルで使用します。

減衰力が「普通」、「少し硬め」、「硬め」の3段階に自動的に切り替わります。

指針式メーター



表示灯

デジタル式メーター

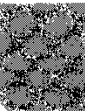


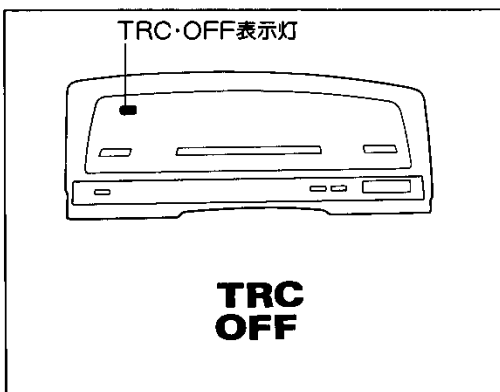
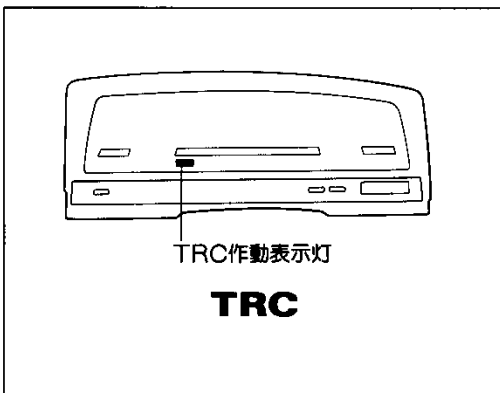
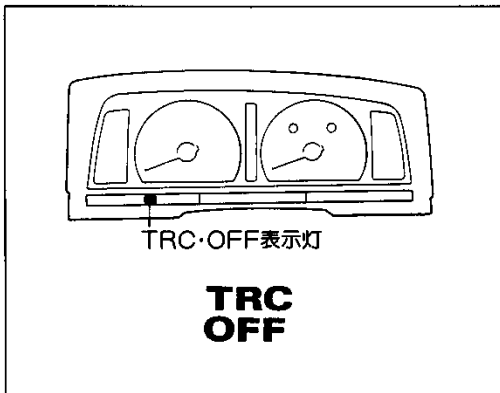
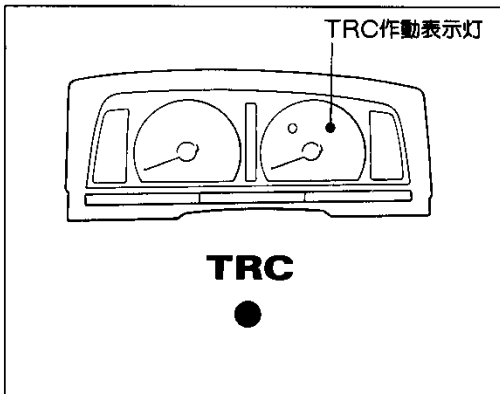
表示灯

**TEMS
SPORT**

硬めの乗り心地を好まれるかたはスポーツにします。

減衰力が「少し硬め」、「硬め」に自動的に切り替わります。





トラクション・コントロール(TRC)

グランドG(1G-GZ車に非装着車あり)

トラクション・コントロールは、すべりやすい路面での発進時に生じる後輪の空転を制御し、車両の安定性と後輪の駆動力を確保する装置です。

■TRC作動表示灯&OFF表示灯

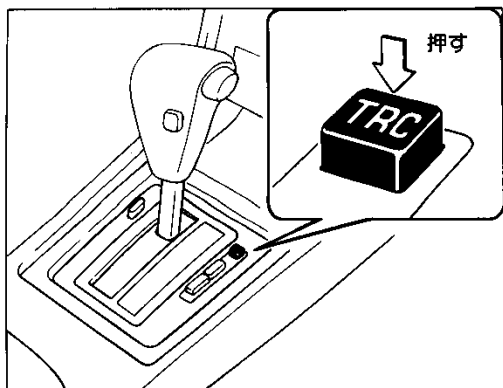
1. エンジン・スイッチをONにすると作動表示灯およびOFF表示灯が点灯し、約3秒後に消灯します。同時にトラクション・コントロールが作動可能状態になります。
2. トラクション・コントロールが作動すると作動表示灯が点滅します。
3. トラクション・コントロールが作動停止状態のときはOFF表示灯が点灯します。
通常走行時はできるだけ作動可能状態(OFF表示灯が消灯)で使用してください。



注意!

1. トラクション・コントロールが作動しているときは、車両がすべりやすい状態になっていますので、作動表示灯が点滅しないよう慎重に運転してください。
2. トラクション・コントロール付きの車両でも冰雪路面、凍結路面ではスノー・タイヤ、タイヤ・チェーンを装着し、ひかえめな速度で運転してください。
3. 走行中、作動表示灯が点灯した場合は装置の異常が考えられますので、トヨタ販売店で点検を受けてください。

特別装備の使い方



■TRC・OFFスイッチ

スイッチを押すごとに作動停止状態と作動可能状態が交互に切り替わり、作動停止状態になるとTRC・OFF表示灯が点灯します。



ちょっと一言

- 1.トラクション・コントロールが正常に作動しているときは、車両の振動や沈み込みを感じることがありますが、これはブレーキ制御の作用によるもので異常ではありません。
- 2.エンジンを始動するとエンジン・ルームから“カチカチ、トン”等の音がしますが、これはトラクション・コントロールの作動をチェックしている音で異常ではありません。
- 3.ぬかるみ、新雪等からの脱出時、アクセル・ペダルを踏み込んでもエンジン回転が上がらない場合があります。

4輪ESC

グランデG(1G-GZ車に非装着車あり)に標準装備

GT・ツインターボ、グランデG、グランデに注武装備

急制動時やすべりやすい路面での制動時には、車輪がロックすることがあります。

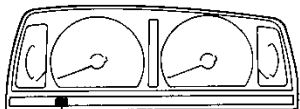
4輪ESCはこの車輪のロックを自動的に防止し、車両の姿勢を安定させるとともにハンドルを効かせようとする装置です。

普通のブレーキと同じようにブレーキ・ペダルを踏むだけで特別な操作はいりませんが、次のことに注意してください。



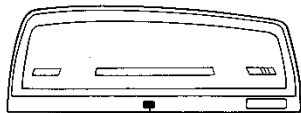
- 4輪ESCは制動距離を短くすることをねらいとした装置ではありません。また、4輪ESCが作動した状態でも車両姿勢の安定やハンドルの効き方には限界がありますので、ハイドロプレーニング現象が起こりやすい雨天時の高速走行などにおいても過信せず、安全運転に心がけてください。
- 悪路、ジャリ道、深い新雪などの路面では、4輪ESCのついていない車両に比べて制動距離が長くなる場合がありますので、速度をひかえめにし車間距離を十分とって運転してください。

指針式メーター



ESC警告灯

デジタル式メーター



ESC警告灯

■ESC警告灯

エンジン・スイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

ESC



処置

点灯したままのときは装置の不具合が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。この場合、4輪ESCは作動せず、普通のブレーキとして作動します。

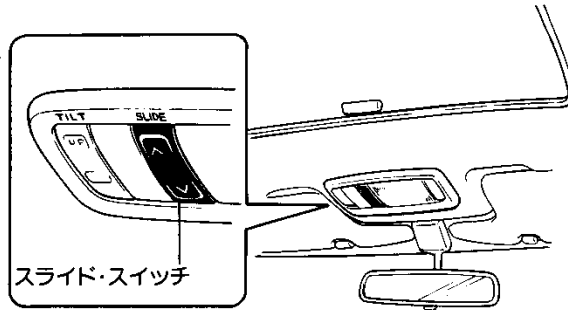


4輪ESCが作動すると、作動音とともにブレーキ・ペダルに脈動を感じることがありますがこれは異常ではありません。

ムーン・ルーフ

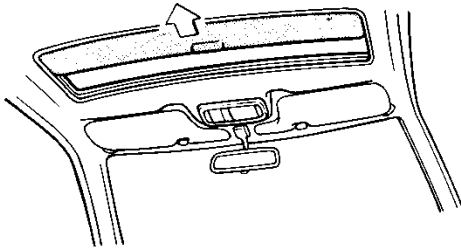
注文装備

スライド開閉のしかた



開け方

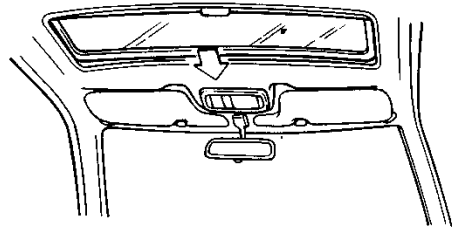
- ① エンジン・スイッチをONにします。
- ② スライド・スイッチのうしろ側をピーという音がするまで押し続けると自動的に全開します。



途中で止めたいときは、もう一度スイッチを押します。

閉じ方

- ① エンジン・スイッチをONにします。
- ② スライド・スイッチの前側をピーという音がするまで押し続けると自動的に全閉します。

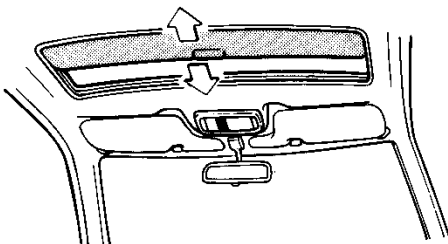


途中で止めたいときは、もう一度スイッチを押します。



全閉になる手前でいったん停止し、ピッピッという警告音とともに再び閉まりはじめます。

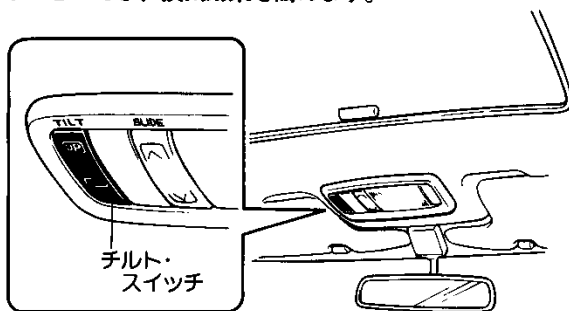
サン・シェード



ムーン・ルーフを開けると連動して開きます。
手動でも開閉できます。

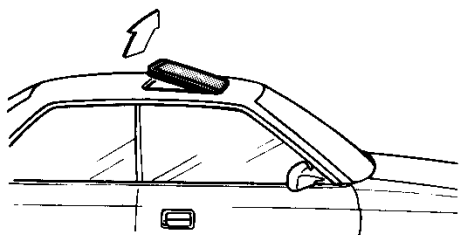
チルト・アップ、ダウンのしかた

ムーン・ルーフの後端を上げることができ、換気効果を高めます。



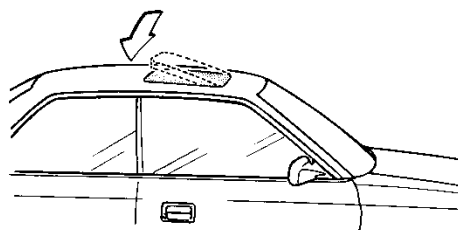
チルト・アップのしかた

- ① エンジン・スイッチをONにします。
- ② チルト・スイッチのうしろ側（UP側）をピーという音がするまで押し続けると自動的にチルト・アップします。



チルト・ダウンのしかた

- ① エンジン・スイッチをONにします。
- ② チルト・スイッチの前側をピーという音がするまで押し続けると自動的にチルト・ダウンします。



降車時ムーン・ルーフを閉め忘れたときは

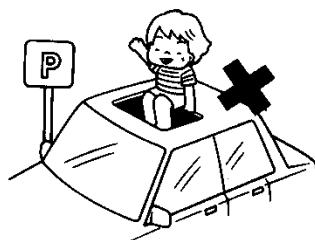
もう一度エンジン・スイッチをONにしなくても、ムーン・ルーフを閉めることができます。
運転席ドアを開けたまま、ムーン・ルーフ・スイッチを操作します。



- 運転席ドアをいったん閉じるとスイッチを操作しても作動しません。
- チルト・アップしたままで、エンジン・スイッチをONからACCまたはLOCKの位置にすると、ブザーが鳴りムーン・ルーフの閉め忘れを警告します。



- 開口部に腰かけないでください。



- 開けるときはルーフに水や雪がないことを確認してください。

スイッチを押しても作動しないときは(故障時の閉め方)

スイッチを約10秒間押し続けると閉まり始めます。

完全に閉まるまで押し続けてください。

- 開いているときはスライド・スイッチの前側
- チルト・アップしているときはチルト・スイッチの前側

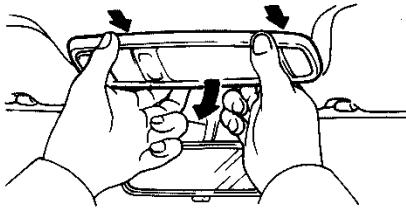
以上の操作をしても作動しないときは、次の処置をして、トヨタ販売店で点検を受けてください。



工具袋からL字形のムーン・ルーフ用⊖ドライバーを準備します。

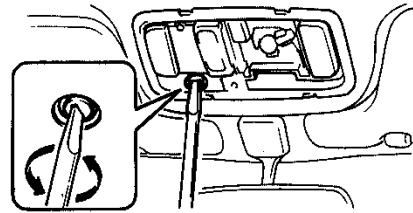
①

スイッチのカバーを前方に押ししたまま、前側からはずします。

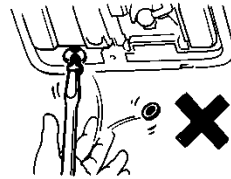


②

駆動軸下部のネジをムーン・ルーフ用⊖ドライバーで取りはずします。



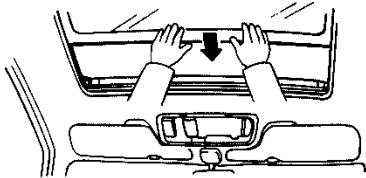
ネジを取りはずすときに、ワッシャーおよびシムを紛失しないようにネジがゆるんできたら指を使って取りはずすようにしてください。



全閉させるとき

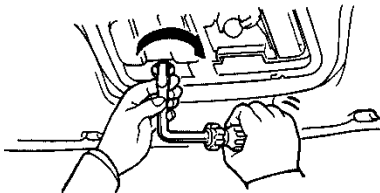
①

手でムーン・ルーフを全閉近くまで動かします。



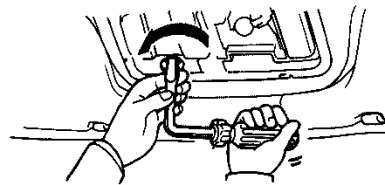
②

ムーン・ルーフ用⊖ドライバーで駆動軸を右に回して完全に閉じます。



チルト・ダウンさせるとき

ムーン・ルーフ用⊖ドライバーで駆動軸を左に回して閉じます。

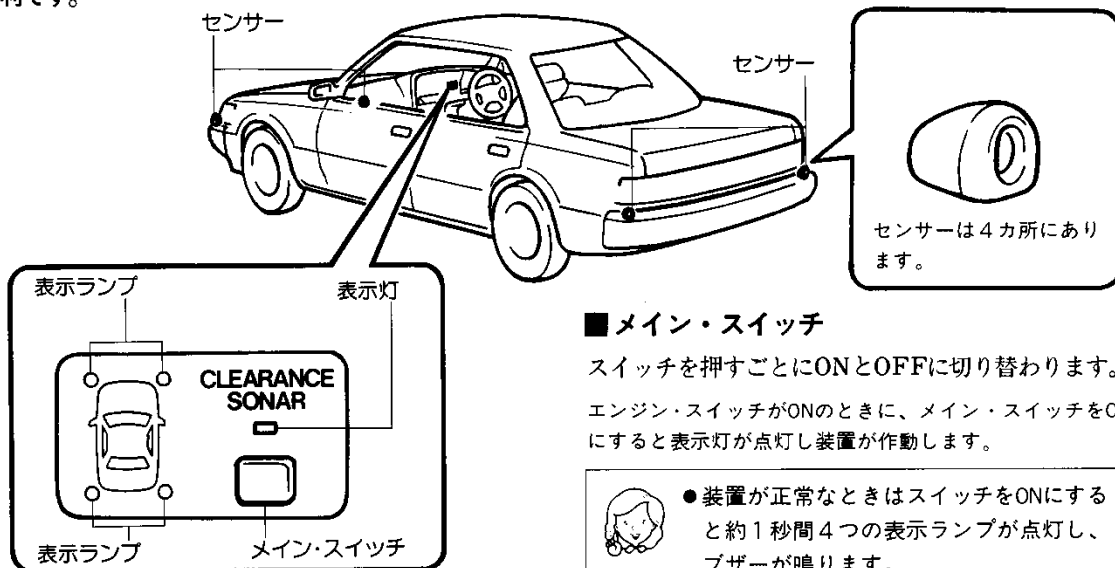


駆動軸を回しすぎると、チルト・アップしたり、ムーン・ルーフが開きます。この場合は、反対方向に回して完全に閉じてください。

クリアランス・ソナー

注文装備

車両と障害物とのおよその間隔を表示ランプとブザーで運転者に知らせる装置で、車庫入れや縦列駐車などのときに便利です。



■メイン・スイッチ

スイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります。エンジン・スイッチがONのときに、メイン・スイッチをONにすると表示ランプが点灯し装置が作動します。



- 装置が正常なときはスイッチをONにすると約1秒間4つの表示ランプが点灯し、ブザーが鳴ります。
- 次の場合、スイッチがONでも装置は作動しません。
 - エンジン・スイッチがACCまたはLOCKのとき
 - チェンジ・レバーがDの位置のとき (A/T車)
 - 車速が約10km/h以上のとき

表示ランプの見方とブザーの鳴り方

メイン・スイッチをONにしておけば、表示ランプとブザーが次のように作動します。

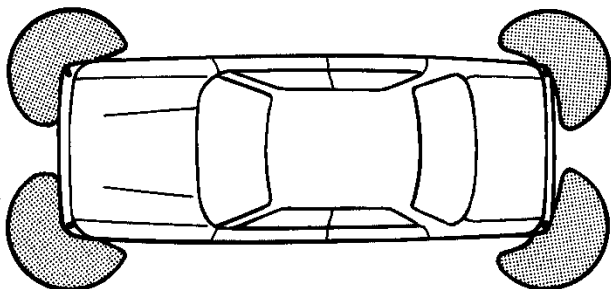
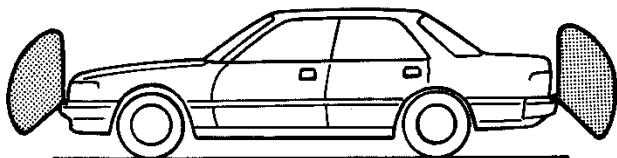
(例) 車の左側前方に障害物がある場合

車と障害物との位置関係	約50cm以上	約50cm～約20cm	約20cm以内
表示ランプ	(消灯)	(左上の表示ランプが点滅)	(左上の表示ランプが点灯)
ブザー音	— (なし)	ピッピッピ (断続音)	ピー (連続音)

特別装備の使い方



- 感知できる範囲は下図のとおり車両コーナー部分付近に限られていますので、必ず周辺の安全を確認しながら運転してください。



各センサーから約50cm以内の障害物を感知します。

- 感知範囲にはアクセサリ等を取りつけないでください。
- 次の場合、装置が正常に作動しないことがあります。
 - センサーに氷、雪、泥などが付着したとき
 - 炎天下や寒冷時に長時間駐車したとき
 - でこぼこ道、坂道、草むら走行時など
 - 他車のホーン、オートバイのエンジンなどの超音波を発生するものが近づいたとき
 - どしゃぶりの雨や水しぶきがかかったとき
 - 無線機用アンテナを車につけたとき
- 次のようなものは感知しないことがあります。
 - 針金、ロープなどの細いもの
 - 綿、雪などの音波を吸収しやすいもの
 - 背の低い物体
- バンパーをぶつけたときや表示ランプが点灯したまま（ブザー音はなし）のときは、装置の異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。